



4年ぶりに市民の笑顔☺が集う!

第18回ひろしま給食まつり開催!

↑写真は大量の来場者で賑わう給食まつりの様子

写真は大量の来場者で賑わう給食まつりの様子。会場には多くの家族連れが参加し、給食の思い出を語り合っていました。

釜混ぜ体験コーナーでは、水をこぼさないように真剣な表情で回転釜を混ぜる子どもたちの姿が印象的。みそ玉作りに参加した市民からは、「食」についての説明に感銘を受けた!という声が。環境局職員と保育園調理員による紙芝居にも、たくさんの方が入っていました。食育ステージで野菜の皮むきを体験した子どもたちも、「家でもやってみよう」と目を輝かせて、フードドライブに持ち込まれた大量の食材は、子ども食堂で活用予定です。

子どもも大人も食のワクワクを体験!

釜混ぜ体験コーナーでは、水をこぼさないように真剣な表情で回転釜を混ぜる子どもたちの姿が印象的。みそ玉作りに参加した市民からは、「食」についての説明に感銘を受けた!という声が。環境局職員と保育園調理員による紙芝居にも、たくさんの方が入っていました。食育ステージで野菜の皮むきを体験した子どもたちも、「家でもやってみよう」と目を輝かせて、フードドライブに持ち込まれた大量の食材は、子ども食堂で活用予定です。

新企画☆スタンプラリー開催!

前回から「集めたスタンプ3個ごとに、給食・揚げパン・おみやげがもらえるシステム」に変える等、コロナで開催できなかった4年間に温めたアイデアを持ち寄り、たくさんの方のコーナを企画しました。

市労組みよし定期大会開催!

11月10日(金)三次市福祉保健センターで、二〇二三年度市労組みよし定期大会を開催しました。大会の冒頭、大谷委員長からは「ウクライナ情勢や物価高騰など様々な課題に対して、コロナ後の運動を再開していく」と挨拶がありました。

県本部の浜崎書記長から激励の挨拶をいただいたのち、二〇二三年度活動報告と二〇二三年度運動方針について提案されました。新型コロナウイルスが



写真中央は大谷真弘執行委員長

2024春闘勝利!

広島自治労連第68回中央委員会

*2月23日(金・祝)10時~12時

*ロードビルからオンライン併用

広島市東区光町2-9-24

*議題:2024春闘方針案、活動報告

*各単組、補助組織から積極的な発言をご準備下さい



青年たちは「射的」を担当

また、調理会場には、早朝から調理員が集結し、普段通りの安全で美味しい給食を届けようと奮闘しました。その給食を食べた市民から「こんなにおいしい給食を今の子どもたちは食べているんだね」と笑顔があふれていました。

市民の声が私たちの原動力になる!

自分たちの仕事は、市民の命と暮らしを守っていることを再認識し、誇りを持って働き続けるための原動力となった一日になりました。

日本政府に「核兵器禁止条約」第2回締約国会議への参加を求める原爆ドーム前集会



右端が決意表明されている広島県被団協の佐久間邦彦理事長

11月23日、広島県原水協と広島県被団協は日本政府に「核兵器禁止条約」第2回締約国会議へのオブザーバー参加を求める原爆

ドーム前集会を開催、80人が参加しました。締約国会議に参加する佐久間県被団協理事長が「締約国政府と『黒い雨』問題など日本の市民社会の運動等の交流を深めたい」と決意表明しました。

参加者からは、「世界は広島を見ている。日本政府に条約への参加を求め続けよう」、「国民は核兵器廃絶を心から願っている」と等と発言が続きました。

岸田首相に、締約国会議にオブザーバー参加し核兵器廃絶に積極的な役割を果たすことと、ガザ地区での戦闘は即時停戦へと緊急行動するよう求める「アピール」を採択し終了しました。

公共を取りもどそう

（全3回）「で
公共の非正規
題について考
えていきたい
と思います。



■なぜ会計年度任用職員が増えたのか

■なぜ会計年度任用職員が増えたのか

■非正規雇用の問題点

■非正規雇用の問題



不正義・不条理に
抗い続けよう



今年の日本母親大会はイスラエルとハマスの戦闘中の開催となり、主催者をはじめ登壇者の誰もが「イスラエルとハマスの戦闘の即時停戦 日本政府は全力で停戦への外交努力を行うべきである」「イスラエルとハマスの戦闘だけではなく、ロシア・ウクライナ戦争の終結も見えない。戦争反対、核兵器廃絶の声をもつと広く届け、訴え続けていこう」と訴えました。

戦争反対！外交努力を！

11月25日(土)～26日(日) 山口市で第68回日本母親大会が開催され、2日間で12000人が会場・オンラインから参加、広島自治労連から8名が参加しました。

憲法の平和的生存権、個人の尊厳を揺るがせない

記念講演では室蘭工業大学大学院の清末愛砂教授が「あらたな戦前に抗する―小さな幸せを支える震源がおびやかされない社会をめざして」と題してお話されました。

清末教授はこの23年間、パレスチナに関わり続けている経験から、今のイスラエルとハマスの戦闘について話されながら、日本国憲法前文が謳う「平和的生存権」と、24条にのみ謳われている「個人の尊厳」を強調されました。

「不正義・不条理に抗うこと」、「声をあげ続けること」を呼びかけていくことの大切さを学びました。



保育パレード・マイクを握る広島市職労の平田書記次長

すべての子どもに
よりよい保育を

よりよい保育を！実行

しました。

スピーチ、寸劇で
全国の取り組みを

会要請行動、23日にすべ
ての子どもによりよい保
育を！ 11・23大集会を行
い、保育者や保護者がさ
まざまな行動に取り組み
ました。

府省交渉では自治労連
保育部会副部長として
広島市職労平田書記次長
が参加し、4・5歳児の
配置基準改善や子ども誰
でも通園制度について、
こども家庭庁と意見交換

大集会には2000人の
保育者・保護者・子どもたちが日比谷野外大音楽堂につどい、つながりあそび・うた研究所の本松はじめさんの心温まるステージでスタート、各地の保育状況をスピーチや寸劇で表現、広島は11月5日のこどもパレードにカエルさんと共に参加し、「配置基準をカエル」「賃金・労働条件を



日比谷野外音楽堂での保育集会

カエル」等とコールしたことを訴えました。

「そう！」「給料上げ
て！」「子どもたちにも
う1人保育士を！」と
シユプレヒコールしなが
ら歩きました。

子ども1人に大人1人
が必要な場面が1日のう
ちに何度もあり、現行の
保育士配置基準では子ど
もたちに「ちよつとまつ
てね」と声をかける場面
が多々あることが今集会
で叫ばれました。

子どもを大人の都合で
待たせない、我慢させな
い保育が行えるように配
置基準改善について声を
上げ続けます。

●1月5日(金)7:30 春闘宣伝
そごう前、横川駅前、広島駅前大橋
広島市役所前は7:45から。

●1月31日(水)夜 広島自治労連「春の組織集会」
会場はロードビルからオンライン併用
詳細は後日お知らせします。

●2月9日（金）18：45～広島自治労連「春闘学習会」
会場はロードビルからオンライン併用
詳細は後日お知らせします。

●2月18日(日) 13:00~16:00
第67回はたらく女性の広島県集會
会場はロードビルからオンライン併用
記念講演「ケアが大事にされる社会へ」
講師 本田 宏さん

●2月23日(金・祝) 10:00~12:00
広島自治労連中央委員会 ロードビルからオンライン併用

2024春闘行動いろいろあるよ
なにかひとつでも参加しよう！

憲法の平和的生存権、個人の尊厳を揺るがせない